



人工芝に改修されたサッカー場

校友會報

第 46 号

静岡県三島市文教町 2-31-145
日本大学国際関係学部
校友会

平成二十七年度 常任幹事会・幹事会開催

案とも承認された。

◎常任幹事会
平成十七年六月六日(土)午後三時三十分から、国際関係学部本校舍十五号館五階「五四四教室」において開催された。横山雅人会長挨拶の後、会長進行により議論に移り、幹事会提案事項について田中由幹雄理事長から各項目ごと詳細にわたり説明があり審議された。

平成二十七年六月六日(土)十七時三十分から常任幹事会に引き続
いて幹事会が開催された。閑野豊、
常任幹事の司会で進行され、横山雅
人、常任幹事長挨拶の後、総長・田勝幹
事選出された。議長には久保田勝幹事
副議長には勝又義博常任幹事書記
には露木ひろみ常任幹事がそれとぞ
選出され、次の議事が審議された。

平成二十六年度決算報告
監査報告
平成二十七年度事業計画（案）
平成二十七年度予算（案）
平成二十七年度新幹事等に
関する件
支那規程（案）

就職合同面接会実行委員会
に関する件
国際関係学部校友会関係物
故者について
功労者表彰に関する件
その他

田中由雄幹事長から、平成二十六年度事業報告引き続き塙谷典子会計担当から平成二十六年度決算報告が報告され、宮川守会計監査から監査報告があり、それぞれ承認された。なお各科同窓会名簿が完成し

住所が判明した一般会員の方々への会報送付を実施した為校友会報発行費及び通信運搬費が予算超過となり、全体の繰越金六・五、九四八円で基金配分は奨学金準備基金五〇〇円に、周年事業の三基金の繰り入れはゼロに、次年度繰越金三四、

（四）平成二十七年度事業計画
（案）については田中由雄幹事長から
及び平成二十七年度収支予算（案）
については塩谷典子会計担当から提
案説明がなされ、審議の結果、二議

この報告書をもつてしたがまきは、
功労者表記問題に關する件については
田中由雄幹事長から校友会顧問で
ありました小椋貞夫氏が役員をもつて
年となりその感謝の意をこめ
感謝状及び記念品を贈呈したい旨
の説明があり承認された。
そのことは田中由雄幹事長
から「会報」第四十六号発行時に
て例年のように会長・副会長から一
名及び顧問に参考から一名の方にお
名前と題しては、また校友会優秀賞授与
者個人三四名及び団体と各学生団
體の委員長に原稿依頼をした旨の
報告がなされた。

長幹事長並びに常任幹事幹事から若干の名とし、委員長に柴田顧問とし、たがいの提案がなされ、審議の結果、二案とも承認された。

国際関係学部校友会関係物故者については中田由鶴幹事長から昨年六月までの総会から本年六月末までに四名の幹事の方がご逝去されましたので、

- 1 -

「会長に就任して」



国際関係学部校友会会長

横山雅人

ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は国際関係学部校友会の活動に対しご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

平成二十七年四月一日より相田前会長の後を引き継ぎ、第十一代会長に就任いたしました。

相田前会長におかれましては、九年に渡り学部校友会本部校友会の活動にご尽力いただき改めてお礼を申し上げます。日本大学国際関係学部校友会(旧日本大学三島同窓会)は三島予科、三島教養部、文理学部三島・短期大学部(三島校舎)・専攻科食物栄養専攻・国際関係学部・大学院国際関係研究科からの正会員をはじめ、特別会員・準会員で構成されています。国際関係学部キャンパスは昭和二十一年六月に三島校舎として開設し六十九年という長い歴史があります。

私は昭和六十年に国際関係学部国際文化学科卒業の第三期生であります。在学中は体育・学術・文化の活動団体で構成されていました。国際関係学部キャンパスは昭和二十一年六月に三島校舎として開設し六十九年という長い歴史があります。

校友会の副会長として活動に参加してきました。以前から学部卒業生を会長にとのお話があり、今回、初の学部卒業生の会長となりました。任期の中での活動を引き継ぎながら、二つのことに重点をおいていきたいと考えています。まず一つ目は在学生の就職の支援です。学部校友会では国際関係学部四年生及び短期大学部一年生(ビジネス教養学科・食物栄養学科)並びに専攻科食物栄養専攻の学生を対象として就職の決まっていない学生に対して就職合同面接会を三島北口校舎で行っています。今、渡邊武一郎学部長が学生の学力向上に注力されています。在学中に社会に出て役立つ資格の取得を期待したいところであります。二つ目は校友にキャンパスを帰ってきてもらう取組です。学部校友会に関わる人が増えれば会員数は活性化していきます。そのため

卒業生では初めての試みになると思います。仲間が集まり、そして広がる。関心を持っていただき、活性化する。そんな校友ネットワークを構築していきたいと思います。

国際関係学部キャンパスは時計台のあつた芝生の場所に十五号館が建ち、六階ラウンジからの富士山の眺めは最高です。平成十二年には国際関係学部三十周年記念として国際関係学部同窓会から噴水広場が寄贈されました。平成二十四年には三島駅北口に駅から濡れずに入れる三島駅舎が完成しました。一号館四号館、女子寮は解体され、今は駐車場になっています。グランドには人工芝の敷設も終わり、第一体育館(大講堂)第二体育館・八号館(食堂)の機能を集約・統合した新総合体育館を建設中です。久しぶりに学部に帰って来てみてはいかがでしょうか?

より多くの校友に校友会の活動にご参加いただき、会員相互の

日本大学国際関係学部校
の皆さまにおかれまして
益々ご清栄のことと心より
び申し上げます。

平素、日本大学国際関係学
部短期大学部（三島校舎）に
ぶ学生のために、ご理解と
援を賜り深く感謝申し上げ
とともに、厚く御礼申し上げ
ます。

本年度は、国際関係学部
総合政策学科に四二五名、
教養学科に二九六名、短期
部ビジネス教養学科に四九
食物栄養学科に一一八名、
科食物栄養専攻に一五名、
院国際関係研究科博士前期
には七名と、合計九一〇名
しい学生を迎えることが出
した。

国際関係学部では昨年度
新たに始めた英語特別クラ
結果が早くも現れ、昨年度
一名がアメリカのモンタナ

渡邊 武一郎

大學へ、そして二年目となつた二年生クラスからは既に二名が交換留学生試験に合格し、フィリピン、ニュージーランドへの派遣が決まりました。今年度も第一期の英語特別クラスが結成され、先輩たちに続くべく毎日英語漬けの日々を送っています。一年生、二年生と共に今後の活躍が期待されます。

また、外国語教育に力を入れている国際関係学部では、英語以外の外国語でも新しい試みを実施しています。その一つとして、付属三島高校との高大連携教育の一環として、高校生を対象にドイツ語とフランス語の二言語を同時に学ぶクラスを開設しました。従来は、英語やドイツ語、或いはフランス語等の外国语は、それぞれ一言語について授業を行ない学ぶ形態でしたが、本クラスは一つの授業をドイツ

「ご挨拶」

国際関係学部 学部員

渡邊武一郎

にホームカミングデーの実施を計画したいと考えています。まずは学園祭に校友の集えるサロン（部屋）を用意し交流をはかると

親睦を深めながら、更なる母校の発展に寄与することができればと思ひます。

健勝、ご活躍を祈念し、温かいご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

語教員とフランス語教員が担当します。生徒たちはドイツ語のボキヤブリーや表現を学ぶと、すぐに同じことをフランス語で学びます。今後の外国语教育を見据えて、一つの実験的試みとしてクラスを開設しましたが、二つの異なる外国语を同時に学んで生徒たちが混乱しないのか？等、我々教員が心配した事は杞憂に終わり、生徒たちは寧ろ一言語を学ぶよりも楽しんでいます。

そして着実に効果を上げているようです。今後は他の言語でも同様の試みを実施し、将来的には国際関係学部独自の外国语教育システムを構築したいと考えています。

また、今年度から国際関係学部に生内裕子先生とマリア・デルベッキオ先生、短期大学部食物栄養学科に小柳津周先生と高橋敦彦先生をお迎えしました。生内先生には英語と教職課程閑

連科目を、デルベッキオ先生には英語科目を、そして短期大学部の小柳津先生には基礎食品学等を、高橋先生には公衆衛生学生等の科目をご担当いただきます。

まプラザホテルにて理事長田中英壽先生をお招きのもと盛大に開催され、渡邊学部長はじめ学部の執行部等多数の関係者をご

招待いただきお礼申し上げます。

また、総会及び懇親会開催に幹事として係わられた皆様の労に対して感謝いたします。集合写

真撮影の後、和やかな中、横山校友会長の挨拶から懇親会が始ままり校友会の皆様とは楽しいひと時を過ごさせていただきました。

願い申し上げます。

来年度四月には日本大学には新たに危機管理学部とスポーツ科学部が開設されます。これにより日本大学は一六学部体制となり、創立二三〇周年を目前にこれまで以上に飛躍することを確信しています。

国際関係学部もその一翼を担い、世界に一番近い学部を目指して改革を進めていきたいた。懇親の中、皆様から貴重なご意見や励ましの言葉等を頂き、今後の学部運営に活かしていくたいと思います。

さて、平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震はまだ記憶に新しいところで発生した大地震の歴史によつて駿河湾から静岡県の内陸部を震源域とするマグニチュード8クラスの巨大地震の切迫性が指摘されている地域であります。

みについて知つていただきたい

日本大学国際関係学部校友会の皆様におかれましては、益々

ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素から奨学金等校友会



日本大学国際関係学部事務局長

大村正文

「国際関係学部校舎耐震の取り組みについて」



国際関係学部校友会副会長

濱田義之

「青春は三島キャンバスとともに」

育・研究及び学園生活の場であるご支援に対し、心より感謝申します。また地震・災害発生時に際しては、学生等の安全確保はもちろん地域住民の応急避難場所として役割も担っています。いつかは起きるであろう自然災害に対し学内施設の耐震性能の向上を図ることは喫緊の課題であります。東北地方太平洋沖地震以降文部科学省等から施設の点検、耐震補強の実施及び建物の建替え等の要請が来ています。本学部では平成十九年度に校舎の耐震診断を実施しておりますが、昭和四十年代の建物が多いことから耐震基準を満たしていない建物及び体育館があるとの結果になりました。この三年三月に三島駅北口に北口校舎を竣工し、1号館及び4号館を解体し授業教室の安全面の改善を図りました。次に本校舎8号館（食堂・講堂棟）、第2体育館、第4体育館の耐震問題解

いては、平成二十九年度以降に計画予定としております。昨年度は、グランドに人工芝を敷設する工事が完了し、体育授業・本館（事務棟）・図書館棟等については、平成二十九年度以降に

建物の建替え等の要請が来ています。本学部では平成十九年度に校舎の耐震診断を実施しておりますが、昭和四十年代の建物が多いことから耐震基準を満たしていない建物及び体育館があるとの結果になりました。この三年三月に三島駅北口に北口校舎を竣工し、1号館及び4号館を解体し授業教室の安全面の改善を図りました。次に本校舎8号館（食堂・講堂棟）、第2体育館、第4体育館の耐震問題解

を図りました。

将来を見据え、日本大学国際関係学部は質の高い学生の輩出に向け、さらなる教学施設及び教育環境整備を進めてまいります。校友会員の皆様には、本学部の教育活動にご理解のもと益々のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

校友会会員の皆様におかれましては、御健勝で御活躍のことと存じます。

私は昭和四十五年（一九七〇年）法医学部に入学し、教養課程の一年間を三島キャンバスで学

ばせていただきました。当時は

ことを今でも鮮明に覚えており、
学園紛争の終末期でしたが、入

学してしばらくの間は、キャン

バスに入るには正門で大学職員

に学生証をみせなければならず、

緊張感があつたことを記憶して

います。

しかし、キャンパスライフは
とても充実し楽しい思い出ばかり
が心に残っています。

当時のクラス担任は後の国際

関係学部長、副総長を歴任され

た秋山正幸教授であり、以来交

流をさせていただいています。

入学した三島キャンパスは学

園紛争の影響で学生自治会は無

かったのですが、学内の平穏が

戻りつつあつたことで大学が認

める自治会に準ずるものとして

各クラスから委員を選出して学

園、本校舎の改築、三島駅北口

校舎の新築等移り変わりはあり

ますが、「自主創造」を基本とす

る日本大学で重要な位置を占め

る三島キャンパスの教育理念は

何ら搖らぐものではなく、今後

私も推されてその一員とな

りました。学内が落ちつくのに

伴い学園祭を再開しようとする

動きが学生の間に広がり、大学

側の協力も得て各クラブの連合

体である学友会とクラ連が中心

となり学園祭実行委員会を結成

して学園祭を開催することとな

ったのです。試行錯誤しながら

の準備は文字通り大変な作業で

したが、関係する方々の協力に

より学園祭は無事開催すること

ができたのです。後夜祭が終了

し、翌日後片付けが終った後は

達成感と快い疲労感に包まれた

「富士を仰いで五十七年」



国際関係学部校友会顧問

平井千枝

年間無我夢中で過ごしてきました。病院勤務の折は校友会の仕事が重いと思うこともありました。が、常に先生方、後輩の方々が御力添えを下さり今日に至りました。

ました。

どんなに世の中が変わろうと「食」は健康と幸せの基本です。

時々三島まで来る途中医療系

大学が小田原、熱海、三島と目に

づきます。五十年前栄養科学生

の時、四年後には大学になると先

生方から伺っていた事を思い出

しますが今の栄養科の方向性に

些かの淋しさを感じます。意気の

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

皆様のご活躍、御多幸をお祈り

申し上げます。

向性を見出し初めました。そ

の矢先、大学の事務手続きの手違

いで栄養士資格が不可が浮上。

しました。

当時の三島学園では岩手医大

教養部同じ学び舎で勉強中)理

工学系、文科系各自治会の方々が

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

て栄養学実習を十年間担当致し

て退職後母校で非常勤講師とし

た。

ました。

どんなに世の中が変わろうと

「食」は健康と幸せの基本です。

時々三島まで来る途中医療系

大学が小田原、熱海、三島と目に

づきます。五十年前栄養科学生

の時、四年後には大学になると先

生方から伺っていた事を思い出

しますが今の栄養科の方向性に

些かの淋しさを感じます。意気の

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

皆様のご活躍、御多幸をお祈り

申し上げます。

向性を見出し初めました。そ

の矢先、大学の事務手続きの手違

いで栄養士資格が不可が浮上。

しました。

当時の三島学園では岩手医大

教養部同じ学び舎で勉強中)理

工学系、文科系各自治会の方々が

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

て栄養学実習を十年間担当致し

た。

ました。

どんなに世の中が変わろうと

「食」は健康と幸せの基本です。

時々三島まで来る途中医療系

大学が小田原、熱海、三島と目に

づきます。五十年前栄養科学生

の時、四年後には大学になると先

生方から伺っていた事を思い出

しますが今の栄養科の方向性に

些かの淋しさを感じます。意気の

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

皆様のご活躍、御多幸をお祈り

申し上げます。

向性を見出し初めました。そ

の矢先、大学の事務手続きの手違

いで栄養士資格が不可が浮上。

しました。

当時の三島学園では岩手医大

教養部同じ学び舎で勉強中)理

工学系、文科系各自治会の方々が

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

て栄養学実習を十年間担当致し

た。

ました。

どんなに世の中が変わろうと

「食」は健康と幸せの基本です。

時々三島まで来る途中医療系

大学が小田原、熱海、三島と目に

づきます。五十年前栄養科学生

の時、四年後には大学になると先

生方から伺っていた事を思い出

しますが今の栄養科の方向性に

些かの淋しさを感じます。意気の

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

皆様のご活躍、御多幸をお祈り

申し上げます。

向性を見出し初めました。そ

の矢先、大学の事務手続きの手違

いで栄養士資格が不可が浮上。

しました。

当時の三島学園では岩手医大

教養部同じ学び舎で勉強中)理

工学系、文科系各自治会の方々が

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

て栄養学実習を十年間担当致し

た。

ました。

どんなに世の中が変わろうと

「食」は健康と幸せの基本です。

時々三島まで来る途中医療系

大学が小田原、熱海、三島と目に

づきます。五十年前栄養科学生

の時、四年後には大学になると先

生方から伺っていた事を思い出

しますが今の栄養科の方向性に

些かの淋しさを感じます。意気の

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

皆様のご活躍、御多幸をお祈り

申し上げます。

向性を見出し初めました。そ

の矢先、大学の事務手続きの手違

いで栄養士資格が不可が浮上。

しました。

当時の三島学園では岩手医大

教養部同じ学び舎で勉強中)理

工学系、文科系各自治会の方々が

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

て栄養学実習を十年間担当致し

た。

ました。

どんなに世の中が変わろうと

「食」は健康と幸せの基本です。

時々三島まで来る途中医療系

大学が小田原、熱海、三島と目に

づきます。五十年前栄養科学生

の時、四年後には大学になると先

生方から伺っていた事を思い出

しますが今の栄養科の方向性に

些かの淋しさを感じます。意気の

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

皆様のご活躍、御多幸をお祈り

申し上げます。

向性を見出し初めました。そ

の矢先、大学の事務手続きの手違

いで栄養士資格が不可が浮上。

しました。

当時の三島学園では岩手医大

教養部同じ学び舎で勉強中)理

工学系、文科系各自治会の方々が

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

て栄養学実習を十年間担当致し

た。

ました。

どんなに世の中が変わろうと

「食」は健康と幸せの基本です。

時々三島まで来る途中医療系

大学が小田原、熱海、三島と目に

づきます。五十年前栄養科学生

の時、四年後には大学になると先

生方から伺っていた事を思い出

しますが今の栄養科の方向性に

些かの淋しさを感じます。意気の

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

皆様のご活躍、御多幸をお祈り

申し上げます。

向性を見出し初めました。そ

の矢先、大学の事務手続きの手違

いで栄養士資格が不可が浮上。

しました。

当時の三島学園では岩手医大

教養部同じ学び舎で勉強中)理

工学系、文科系各自治会の方々が

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

て栄養学実習を十年間担当致し

た。

ました。

どんなに世の中が変わろうと

「食」は健康と幸せの基本です。

時々三島まで来る途中医療系

大学が小田原、熱海、三島と目に

づきます。五十年前栄養科学生

の時、四年後には大学になると先

生方から伺っていた事を思い出

しますが今の栄養科の方向性に

些かの淋しさを感じます。意気の

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

皆様のご活躍、御多幸をお祈り

申し上げます。

向性を見出し初めました。そ

の矢先、大学の事務手続きの手違

いで栄養士資格が不可が浮上。

しました。

当時の三島学園では岩手医大

教養部同じ学び舎で勉強中)理

工学系、文科系各自治会の方々が

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

て栄養学実習を十年間担当致し

た。

ました。

どんなに世の中が変わろうと

「食」は健康と幸せの基本です。

時々三島まで来る途中医療系

大学が小田原、熱海、三島と目に

づきます。五十年前栄養科学生

の時、四年後には大学になると先

生方から伺っていた事を思い出

しますが今の栄養科の方向性に

些かの淋しさを感じます。意気の

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

皆様のご活躍、御多幸をお祈り

申し上げます。

向性を見出し初めました。そ

の矢先、大学の事務手続きの手違

いで栄養士資格が不可が浮上。

しました。

当時の三島学園では岩手医大

教養部同じ学び舎で勉強中)理

工学系、文科系各自治会の方々が

合った大学として過去にこだわ

る事なく未来を見つめ、新しい絆

を築くであろう事を期待しています。

て栄養学実習を十年間担当致し

た。

ました。

どんなに世の中が変わろうと

「食」は健康と幸せの基本です。

時々三島まで来る途中医療系

大学が小田原、熱海、三島と目に

学して早くも三年目になりました。入学したての時、右も左もわからぬ中徐々に友人ができ、新しい生活にウキウキしていた時が昨日のことのようになります。

私は小学生の時から柔道をしていました。小・中・高と柔道にいわゆる青春をささげていました。朝起きて朝練をして学校が終わり道場に行くという何とも男臭く決して華やかな学生生活ではなかったと思思います。しかし、私はその学生生活の中でも人に自慢できる所があります。それは「仲間」が出来たことです。

うことです。毎日毎日顔を合わせて苦しい時、悔しい時、楽しい時を共に過ごしたこの仲間は私の学生

生活においてのかけがえのない財産です。

そんな生活をしていた私ですが、大学に入つたばかりの一年間は今まで遊んでいなかつた分たくさん遊んでしまいました。貴重な大学生の一 日又一日と消費していくところまでいいのかな?何かしなくちやなどと考え柔道部の部長になる決意をしました。そしてこのたび前任の体育会長の推薦もあり体育会の会長をさせて頂けるようになりました。

体育会会长をさせて頂くにあたり、私は「スポーツを通して親睦を深める」を目標に会長の御仕事をさせていただいております。その取り組みの中に公認学生団体合同説明会と球技大会があります。今

の大学生には友人になつても表面

上の会話だけでお互い深い所まで

は知らない、浅い友人関係が多いよ

うに思います。私はそのような方々に体育会が主催するイベントに参加してもらい友人関係を深くする、新しい出会いを提供するいい機

会になればいいな、と思っています。これからは前任の体育会会长からある、球技大会、公認学生団体合同説明会といった一つ一つのイベントをただ開催するのではなく、責任と自覚を持ち、向上心高めて今までのことをやりきりたいと思っています。

大学生生活においては、後任の体育会会长の育成に力を注ぎ、柔軟性を發揮せずに、この自由な時間でいかに有意義に過ごせるか、日々精進していくと思います。

最後に日本大学で培ったものは、生ものだと考えます。大学で私を支えてくれる教職員の方々、柔道部のみんな、体育会執行部の皆様、教職員の皆様、学生課のみなさま、そして多くの友達、先輩方、私は自分がないうに精進してまいります。そして支えてくれる方々への感謝を忘れず日々精進します。これからも体育会をよろしくお願ひします。

六月になり新入生が大学生活に慣れてきた頃に、萌芽祭というイベントが行われました。萌芽とは、字のごとく「芽が萌え出る」ことであります。新入生たちが新しい生活、環境の中で新たな一步踏み出そうということです。新入生が各文化系団体に所属し新たなことへの挑戦を始め、最初の舞台となるのが「萌芽祭」になります。音楽系団体や演劇部、富桜祭実行委員会による企画などが行われました。その他の展示スペースを設け、写真部や美術部といった文科系団体による展示発表も行われました。各団体は萌芽祭のために一ヶ月以上の準備期間を経て、本番へのぞみました。萌芽祭を経て、成長したことは多くあつたと思います。それは新入生だけでなく、在籍していた二三年生も同様に成長をしたのではないかと感じました。新入生が入り後輩ができ、先輩として自覚をもつた年生も多くいたのではないかと思います。三年生も同様に、上級生としての自覚、責任を改めて

いる、新しい出会いを提供するいい機会になればいいな、と思っています。私自身も四月から六月という短い期間でしたが多くのこと学びました。富桜祭実行委員会体制となりました。入学したばかりの新入生を見て、「どこか懐かしさを感じながら勧誘活動のかいがない」などと、多くの入部希望者を募りました。執行部と局長、そして部員長としても、まだまだ未熟だ

と思い知らされました。周りの助

けがあつて成り立つてると再度実感しました。そして、各団体でも萌芽祭を通して結束できたのではないかと、自分たちで思いました。しかし、自ら望んで委員長職に就いた私は後戻りすることはできず、進むことしか許されませんでした。

慣れてきた頃に、萌芽祭というイベントが行われました。萌芽とは、字のごとく「芽が萌え出る」ことであります。新入生たちが新しい生活、環境の中で新たなる一步踏み出そうといふことです。新入生が各文化系団体に所属し新たなことへの挑戦を始め、最初の舞台となるのが「萌芽祭」になります。音楽系団体や演劇部、富桜祭実行委員会による企画などが行われました。その他の展示スペースを設け、写真部や美術部といった文科系団体による展示発表も行われました。各団体は萌芽祭のために一ヶ月以上の準備期間を経て、本番へのぞみました。萌芽祭を経て、成長したことは多くあつたと思います。それは新入生だけでなく、在籍していた二三年生も同様に成長をしたのではないかと感じました。新入生が入り後輩ができ、先輩として自覚をもつた年生も多くいたのではないかと思います。三年生も同様に、上級生としての自覚、責任を改めて

いる、新しい出会いを提供するいい機会になればいいな、と思っています。私自身も四月から六月という短い期間でしたが多くのこと学びました。富桜祭実行委員会体制となりました。入学したばかりの新入生を見て、「どこか懐かしさを感じながら勧誘活動のかいがない」などと、多くの入部希望者を募りました。執行部と局長、そして部員長としても、まだまだ未熟だ

と思い知らされました。周りの助けがあつて成り立つてると再度実感しました。そして、各団体でも萌芽祭を通して結束できたのではないかと、自分たちで思いました。しかし、自ら望んで委員長職に就いた私は後戻りすることはできず、進むことしか許されませんでした。

慣れてきた頃に、萌芽祭というイベントが行われました。萌芽とは、字のごとく「芽が萌え出る」ことであります。新入生たちが新しい生活、環境の中で新たなる一步踏み出そうといふことです。新入生が各文化系団体に所属し新たなことへの挑戦を始め、最初の舞台となるのが「萌芽祭」になります。音楽系団体や演劇部、富桜祭実行委員会による企画などが行われました。その他の展示スペースを設け、写真部や美術部といった文科系団体による展示発表も行われました。各団体は萌芽祭のために一ヶ月以上の準備期間を経て、本番へのぞみました。萌芽祭を経て、成長したことは多くあつたと思います。それは新入生だけでなく、在籍していた二三年生も同様に成長をしたのではないかと感じました。新入生が入り後輩ができ、先輩として自覚をもつた年生も多くいたのではないかと思います。三年生も同様に、上級生としての自覚、責任を改めて

いる、新しい出会いを提供するいい機会になればいいな、と思っています。私自身も四月から六月という短い期間でした多くのこと学びました。富桜祭実行委員会体制となりました。入学したばかりの新入生を見て、「どこか懐かしさを感じながら勧誘活動のかいがない」などと、多くの入部希望者を募りました。執行部と局長、そして部員長としても、まだまだ未熟だ

と思い知らされました。周りの助けがあつて成り立つてると再度実感しました。そして、各団体でも萌芽祭を通して結束できたのではないかと、自分たちで思いました。しかし、自ら望んで委員長職に就いた私は後戻りすることはできず、進むことしか許されませんでした。

慣れてきた頃に、萌芽祭というイベントが行われました。萌芽とは、字のごとく「芽が萌え出る」ことであります。新入生たちが新しい生活、環境の中で新たなる一步踏み出そうといふことです。新入生が各文化系団体に所属し新たなことへの挑戦を始め、最初の舞台となるのが「萌芽祭」になります。音楽系団体や演劇部、富桜祭実行委員会による企画などが行われました。その他の展示スペースを設け、写真部や美術部といった文科系団体による展示発表も行われました。各団体は萌芽祭のために一ヶ月以上の準備期間を経て、本番へのぞみました。萌芽祭を経て、成長したことは多くあつたと思います。それは新入生だけでなく、在籍していた二三年生も同様に成長をしたのではないかと感じました。新入生が入り後輩ができ、先輩として自覚をもつた年生も多くいたのではないかと思います。三年生も同様に、上級生としての自覚、責任を改めて

いる、新しい出会いを提供するいい機会になればいいな、と思っています。私自身も四月から六月という短い期間でした多くのこと学びました。富桜祭実行委員会体制となりました。入学したばかりの新入生を見て、「どこか懐かしさを感じながら勧誘活動のかいがない」などと、多くの入部希望者を募りました。執行部と局長、そして部員長としても、まだまだ未熟だ

と思い知らされました。周りの助けがあつて成り立つてると再度実感しました。そして、各団体でも萌芽祭を通して結束できたのではないかと、自分たちで思いました。しかし、自ら望んで委員長職に就いた私は後戻りすることはできず、進むことしか許されませんでした。

慣れてきた頃に、萌芽祭というイベントが行われました。萌芽とは、字のごとく「芽が萌え出る」ことであります。新入生たちが新しい生活、環境の中で新たなる一步踏み出そうといふことです。新入生が各文化系団体に所属し新たなことへの挑戦を始め、最初の舞台となるのが「萌芽祭」になります。音楽系団体や演劇部、富桜祭実行委員会による企画などが行われました。その他の展示スペースを設け、写真部や美術部といった文科系団体による展示発表も行われました。各団体は萌芽祭のために一ヶ月以上の準備期間を経て、本番へのぞみました。萌芽祭を経て、成長したことは多くあつたと思います。それは新入生だけでなく、在籍していた二三年生も同様に成長をしたのではないかと感じました。新入生が入り後輩ができ、先輩として自覚をもつた年生も多くいたのではないかと思います。三年生も同様に、上級生としての自覚、責任を改めて



【富桜祭実行委員会】

秋間 一樹

国際総合政策学科三年



国際総合政策学科四年

麻生 雅義

確認する場にならたのではないかと思います。私自身も四月から六月という短い期間でしたが多くのこと学びました。富桜祭実行委員会体制となりました。入学したばかりの新入生を見て、「どこか懐かしさを感じながら勧誘活動のかいがない」などと、多くの入部希望者を募りました。執行部と局長、そして部員長としても、まだまだ未熟だ

と思い知らされました。周りの助けがあつて成り立つてると再度実感しました。そして、各団体でも萌芽祭を通して結束できたのではないかと、自分たちで思いました。しかし、自ら望んで委員長職に就いた私は後戻りすることはできず、進むことしか許されませんでした。

慣れてきた頃に、萌芽祭というイベントが行われました。萌芽とは、字のごとく「芽が萌え出る」ことであります。新入生たちが新しい生活、環境の中で新たなる一步踏み出そうといふことです。新入生が各文化系団体に所属し新たなことへの挑戦を始め、最初の舞台となるのが「萌芽祭」になります。音楽系団体や演劇部、富桜祭実行委員会による企画などが行われました。その他の展示スペースを設け、写真部や美術部といった文科系団体による展示発表も行われました。各団体は萌芽祭のために一ヶ月以上の準備期間を経て、本番へのぞみました。萌芽祭を経て、成長したことは多くあつたと思います。それは新入生だけでなく、在籍していた二三年生も同様に成長をしたのではないかと感じました。新入生が入り後輩ができ、先輩として自覚をもつた年生も多くいたのではないかと思います。三年生も同様に、上級生としての自覚、責任を改めて

いる、新しい出会いを提供するいい機会になればいいな、と思っています。私自身も四月から六月という短い期間でした多くのこと学びました。富桜祭実行委員会体制となりました。入学したばかりの新入生を見て、「どこか懐かしさを感じながら勧誘活動のかいがない」などと、多くの入部希望者を募りました。執行部と局長、そして部員長としても、まだまだ未熟だ

と思い知らされました。周りの助けがあつて成り立つてると再度実感しました。そして、各団体でも萌芽祭を通して結束できたのではないかと、自分たちで思いました。しかし、自ら望んで委員長職に就いた私は後戻りすることはできず、進むことしか許されませんでした。

慣れてきた頃に、萌芽祭というイベントが行われました。萌芽とは、字のごとく「芽が萌え出る」ことであります。新入生たちが新しい生活、環境の中で新たなる一步踏み出そうといふことです。新入生が各文化系団体に所属し新たなことへの挑戦を始め、最初の舞台となるのが「萌芽祭」になります。音楽系団体や演劇部、富桜祭実行委員会による企画などが行われました。その他の展示スペースを設け、写真部や美術部といった文科系団体による展示発表も行われました。各団体は萌芽祭のために一ヶ月以上の準備期間を経て、本番へのぞみました。萌芽祭を経て、成長したことは多くあつたと思います。それは新入生だけでなく、在籍していた二三年生も同様に成長をしたのではないかと感じました。新入生が入り後輩ができ、先輩として自覚をもつた年生も多くいたのではないかと思います。三年生も同様に、上級生としての自覚、責任を改めて

平成 26 年度 事 業 報 告

1 国際関係学部校友会会長賞等授与

- 平成26年度日本大学国際関係学部在学生から、次の者が国際関係学部長から推薦された。
 ・校友会会長賞（副賞：奨励金）は、国際関係学部3名に贈られ平成27年3月25日の卒業式当日、グランドプリンスホテル高輪において授与式が行われた。
 ・校友会優秀賞（副賞：奨励金）は、国際関係学部1名及び短期大学部3名に贈られ平成27年3月25日の卒業式当日、グランドプリンスホテル高輪において授与式が行われた。
 ・校友会優秀賞（副賞：奨学金）は、国際関係学部3名及び1団体並びに短期大学部1名に贈られ平成27年4月2日の開講式当日授与式が行われた。
- ①校友会会長賞（副賞：奨励金）
 牧野 龍太郎（国際教養学科4年） 福岡 康佑（国際総合政策学科4年）
 今泉 仁彰（国際政策学科4年）
- ②校友会優秀賞（副賞：奨励金）
 堀川 未来夢（国際総合政策学科4年） 田嶋 理瑛（専攻科食物栄養専攻2年）
 鈴木 美優（食物栄養学科2年） 天野 真由香（食物栄養学科2年）
- ③校友会優秀賞（副賞：奨学金）
 ダニエル・ム・イバ・キトニー（国際教養学科3年） 佐野 佑太（国際総合政策学科3年）
 高橋 義典（国際総合政策学科3年） 駒形 垣海（専攻科食物栄養専攻1年）
 ゴル部（団体）

1 日大スポーツ部

1,150部を平成26年4月国際関係学部・短期大学部（三島）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡した。

1 会報発行

会報45号を平成26年9月1日付け23頁 26,800部を発行した。

1 各科同窓会等補助

- ①国際同窓会に対する補助
 ②大学の体育会に対する補助
 ③大学の体育会に対する補助
 ④伊豆マラソン大会応援に対する補助

1 常任幹事会

平成26年6月7日（土）16時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。

1 幹事会

平成26年6月7日（土）17時から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。

1 総会並びに懇親会

平成26年7月19日（土）16時から、みしまプラザホテルにおいて開催した。

1 国際校友会公式WEBサイト更新

平成26年4月から公式WE Bサイト（ホームページ）に年間6回に渡り校友会行事を写真集として更新しました。

1 就職合同面接会

平成26年9月17日（水）13時から17時まで、国際関係学部三島駅北口校舎6階に於いて国際関係学部・短期大学部の卒業予定者に対する就職支援の一環とした合同面接会を開催した。（参加企業16社・参加学生22名：内定者14名）

1 箱根駅伝応援

平成27年1月3日（土）復路スタート応援地点で応援した。また、平成27年1月2日（金）往路ゴール応援地点及び平成27年1月3日（土）復路スタート応援地点で国際関係学部チアーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加した。

1 伊豆マラソン大会応援

平成27年2月15日（日）修善寺駅北口スタート応援地点及び三島市役所別館ゴル応援地点で国際関係学部チアーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加した。

平成 26 年度 収 支 決 算 書 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日) (単位:円)

支 出 の 部			収 入 の 部		
項 目	予 算 額	決 算 額	項 目	予 算 額	決 算 額
獎 学 費	490,000	460,000	会 費 収 入	14,000,000	13,672,000
日大スポーツ購入費	350,000	345,000	雑	590,000	654,779
校友会報発行費	460,000	861,840	△	401,840	△ 328,000
各科同窓会等補助	170,000	100,000			64,779
学生団体補助費	800,000	128,500			
総会並びに懇親会費	1,000,000	1,137,508			
箱根駅伝応援補助費	1,000,000	719,046			
本部校友会会費	470,000	470,000			
卒業記念品費	2,750,000	2,446,500			
会議会合費	300,000	170,342			
通信運搬費	1,000,000	2,843,110	△	1,843,110	△ 263,221
ホームページ運営費	400,000	397,440			
事務費	400,000	674,324	計	14,590,000	14,326,779
会員名簿作成費	500,000	145,018	基 金 繼 越 額	0	0
就職説明会運営費	400,000	161,306	前 年 度 繼 越 金	0	0
日本大学130周年記念寄付金	100,000	100,000	本 年 度 繼 越 額	0	0
雑費	800,000	1,050,897	本 年 度 繼 入 額	900,000	900,000
国際関係学部校友会奨学金支援基金	500,000	500,000	次 年 度 繼 入 額	0	0
予備費	100,000	100,000	次 年 度 繼 越 金	26,164,885	26,164,885
計	11,990,000	12,810,831	繰 越 金	26,164,885	26,164,885
基 金 繼 入 額	900,000	900,000	合 计	40,138,937	39,875,716
次 年 度 繼 越 金	27,248,937	26,164,885		25,548,937	25,548,937
(繰越金)	27,248,937	26,164,885			
支 出 の 部 合 計	40,138,937	39,875,716	取 入 の 部 合 計	40,138,937	39,875,716

貸 借 対 照 表 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額
普 通 預 金	41,164,885	基 金	19,140,000
定 期 預 金	4,140,000	前 年 度 繼 越 金	18,240,000
		本 年 度 繼 入 額	900,000
		本 年 度 繼 出 額	0
		次 年 度 繼 越 金	26,164,885
		繰 越 金	26,164,885
合 計	45,304,885	合 計	45,304,885

基 金 の 内 訳

(単位:円)

項 目	前 年 度 繫 越 額	本 年 度 繫 入 額	本 年 度 繫 出 額	合 计
基 金	18,240,000	900,000	0	19,140,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	6,080,000	300,000	0	6,380,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	6,080,000	300,000	0	6,380,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	6,080,000	300,000	0	6,380,000
計	18,240,000	900,000	0	19,140,000

平成 26 年度収入について関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他正確であることを認めます。

平成 27 年 5 月 10 日

会計監査 宮 川 守
藤 本 文 彦

平成 27 年度 事 業 計 画

- 1 國際關係學部校友会会长賞等授与（副賞：奨励金もしくは奨学金）
 日本大学國際關係學部及び短期大學部（三島校舎）を平成28年3月卒業・4月進級の予定者を対象とする。
 ・校友会会长賞並びに奨励金 国際關係學部 4年卒業予定者 3名
 ・校友会優秀賞並びに奨励金 国際關係學部 4年卒業予定者 3名
 短期大學部（専攻科含む） 2年卒業予定者 3名
 ・校友会会长賞並びに奨学金 国際關係學部 2・3年在学生 3名
 短期大學部（専攻科含む） 1年在学生 3名
- 1 スマホ・携帯ストラップ
 1,100個を平成27年4月国際關係學部及び短期大學部（三島校舎）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡す。
- 1 会報発行
 会報46号（平成27年9月1日付）23頁 17,000部。
- 1 各科同窓会等補助
 ①各科同窓会に対する補助。
 ②大学体育会・文化会に対する補助。
 ③箱根駅伝応援（予選会含む）に対する補助。
 ④伊豆マラソン大会応援に対する補助。
 ⑤全日本大学女子駅対校選手権大会応援に対する補助。
- 1 常任幹事会
 平成27年6月6日（土）16時30分から、国際關係學部本校舎 校舎15号館において開催する。
- 1 幹事会
 平成27年6月6日（土）17時30分から、国際關係學部本校舎 校舎15号館において開催する。
- 1 総会並びに懇親会
 平成27年7月18日（土）16時から、みしまプラザホテルにおいて開催する。
- 1 國際校友会公式WEBサイト更新
- 1 就職合同面接会
 平成27年9月11日（金）国際關係學部三島駅北口校舎に於いて国際關係學部・短期大學部の平成27年度卒業予定者対象とした県内本学出身代表者企業参加による合同就職面接会を開催する。
- 1 箱根駅伝予選会応援
 平成27年10月17日（土）国営昭和記念公園コースのスタート・ゴール地点及び中間地点で応援する。
- 1 全日本大学女子駅伝応援
 平成27年10月25日（日）仙台市陸上競技場スタート応援地点及び仙台市役所前ゴール応援地点で応援する。
- 1 箱根駅伝応援
 平成28年1月3日（日）復路スタート応援地点で応援する。また、平成28年1月2日（土）往路ゴール応援地点及び平成28年1月3日（日）復路スタート応援地点で国際關係學部チアリーディング部スパークルズ・文化会所属吹奏樂部の学生が応援に参加する。
- 1 伊豆マラソン大会応援
 平成28年2月14日（日）修善寺駅北口スタート応援地点及び三島市役所別館ゴール応援地点で応援する。また、国際關係學部チアリーディング部・文化会所属吹奏樂部の学生が応援に参加する。

平成 27 年度 収 支 予 算 書 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日) (単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 額	項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 額
奨 学 費	460,000	490,000	△30,000	会 費 収 入	13,800,000	14,000,000	△ 200,000
日大スポーツ購入費	0	350,000	△350,000	雜 収 入	650,000	590,000	△ 60,000
校 友 会 報 発 行 費	500,000	460,000	40,000				
各 科 同 窓 会 等 補 助	150,000	170,000	△20,000				
学 生 団 体 補 助	800,000	800,000	0				
総会並びに懇親会費	1,000,000	1,000,000	0				
箱根駅伝応援補助	860,000	1,000,000	△140,000				
本 部 校 友 会 会 費	470,000	470,000	0				
入 学 記 念 品 費	520,000	0	520,000				
卒 業 記 念 品 費	2,100,000	2,750,000	△650,000				
会 議 会 合 費	300,000	300,000	0				
通 信 運 搬 費	1,800,000	1,000,000	800,000				
ホームページ運営費	400,000	400,000	0				
事 務 費	570,000	400,000	170,000				
会 員 名 簿 作 成 費	200,000	500,000	△300,000				
就 職 説 明 会 運 営 費	200,000	400,000	△200,000				
日本大学130周年記念寄付金	100,000	100,000	0				
雜 費	800,000	800,000	0				
国際關係學部校友会奨学金支援基金	500,000	500,000	0				
予 備 費	100,000	100,000	0				
計	11,830,000	11,990,000	△160,000	計	14,450,000	14,590,000	△ 140,000
基 金 繼 入 額	0	900,000	△900,000	基 金 繼 出 額	0	0	0
次 年 度 繼 越 金 (繰越金)	28,784,885	27,248,937	1,535,948	前 年 度 繼 越 金	26,164,885	25,548,937	615,948
支 出 の 部 合 計	40,614,885	40,138,937	475,948	収 入 の 部 合 計	40,614,885	40,138,937	475,948

基 金 の 内 訳

(単位:円)

項 目	前 年 度 繼 越 額	本 年 度 繼 入 額	本 年 度 繼 出 額	合 计
基 金	19,140,000	0	0	19,140,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	6,380,000	0	0	6,380,000
国際關係學部創立50周年記念事業基金準備金	6,380,000	0	0	6,380,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	6,380,000	0	0	6,380,000
計	19,140,000	0	0	19,140,000

平成 27 年度役員

役 職 氏 名 (在学年度)

教 養
 幹 事 安東安生 (29・30)
 幹 事 寺崎哲郎 (29・30)
 幹 事 関 哲男 (29・30)
 幹 事 森 伸夫 (30・31)
 幹 事 道見俊廣 (30・31)
 幹 事 小野 武 (30・31)
 幹 事 馬場妙子 (30・31)
 幹 事 屋鋪公平 (30・31)
 幹 事 根岸元宏 (31・32)
 幹 事 渡部浩司 (31・32)
 幹 事 大村日出雄 (32)
 幹 事 甲田知由 (33)
 幹 事 吉野洋一 (35)
 幹 事 鈴木 肇 (35)
 幹 事 御供政紀 (35・36)
 幹 事 小澤文郎 (36)
 幹 事 多田清太郎 (37)
 幹 事 坂口正剛 (37)
 幹 事 小石川宣照 (37)
 幹 事 遠藤日出夫 (37)
 幹 事 渡辺博夫 (37)
 幹 事 杉田朋昭 (39)
 幹 事 両角 勇 (42)
 幹 事 江川 洋 (42)
 幹 事 林田孝二 (43)
 幹 事 藤幡俊量 (46)
 幹 事 高藤省三 (49)
 幹 事 瀧本 博 (53)

桜文会

幹 事 岩崎尚枝 (41・42)
 幹 事 小永井京子 (43・44)
 幹 事 高橋真理子 (44・45)
 幹 事 榎本睦美 (45・46)
 幹 事 石井千枝子 (46・47)
 幹 事 松村啓子 (51・52)
 幹 事 佐野有美 (52・53)
 幹 事 大塚久子 (52・53)
 幹 事 瀬川晶子 (53・54)
 幹 事 武田裕美 (55・56)
 幹 事 勝亦幾代 (56・57)
 幹 事 北川早苗 (56・57)
 幹 事 山崎睦子 (57・58)

役 職 氏 名 (在学年度)

会 長 横山雅人 (56~59)
 副会長 宮下公雄 (54~57)
 副会長 濱田義之 (45)
 副会長 山田浩子 (41・42)
 副会長 江本博勝 (46・47)
 副会長 野中美香 (55・56)
 副会長 弓場重明 (44・45)
 幹事長 田中由雄 (42・43)
 常任幹事 関野幹雄 (48・49)
 常任幹事 関野浩二 (57~60)
 常任幹事 山瀬 匠 (08・09)
 常任幹事 塩谷典子 (56~59)
 常任幹事 市川紀子 (35・36)
 常任幹事 染谷徳昭 (42・43)
 常任幹事 山口良児 (43・44)
 常任幹事 平岩美知子 (44・45)
 常任幹事 久保田博明 (45・46)
 常任幹事 遠藤晶子 (45・46)
 常任幹事 西野和衛 (46・47)
 常任幹事 瀬川 宏 (47・48)
 常任幹事 神戸絹代 (47・48)
 常任幹事 鈴木 允 (48)
 常任幹事 露木ひろみ (52・53)
 常任幹事 斎藤 聰 (54~57)
 常任幹事 松原裕二 (54~57)
 常任幹事 高野 誠 (57~60)
 常任幹事 勝又義博 (57~60)
 常任幹事 野田正人 (62・63)
 常任幹事 藤澤博隆 (03・04)
 常任幹事 渡邊孝哉 (09・10)
 会計監査 宮川 守 (47・48)
 会計監査 藤本文彦 (52・53)

任期(H27.4.1 ~H30.3.31)

役 職 氏 名 (在学年度)

顧 問 角田義廣 (30・31)
 顧 問 平井千枝 (34・35)
 顧 問 柴田 正 (41・42)
 顧 問 小早川隆義 (42・43)
 顧 問 相田信次 (44・45)

参 与 渡辺洋子 (35・36)
 参 与 岩崎一雄 (43・44)

公式WEBサイト



URL <http://www.nu-ir-koyukai.jp/>

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	嶋 美也子 (41·42)	幹	事	山田 良 (55·56)	幹	事	高野直美 (58·59)
幹	事	伊藝 瞳 (41·42)	幹	事	杉山勝行 (57·58)	幹	事	阿部昭子 (59·60)
幹	事	駿藤春代 (42·43)	幹	事	黒田文量 (59·60)	幹	事	神田留美子 (60·61)
幹	事	石原泰代 (42·43)	幹	事	金城三十二 (59·60)	幹	事	白石 忍 (63·01)
幹	事	篠田光代 (42·43)	幹	事	武井直子 (60·61)	幹	事	渡邊陽子 (01·02)
幹	事	影山貴美枝 (43·44)	幹	事	土佐谷泰子 (61·62)	幹	事	高鹿真弓 (03·04)
幹	事	土屋時子 (43·44)	幹	事	久保和之 (63·01)	幹	事	森川容子 (03·04)
幹	事	柴田敬子 (44·45)	幹	事	田伏正和 (01·02)	幹	事	古屋美帆 (06·07)
幹	事	川村千代子 (45·46)	幹	事	名雪しげみ (01·02)	幹	事	山崎幸恵 (08·09)
幹	事	辻 緑 (45·46)	幹	事	菅江 稔 (02·03)	幹	事	林 隆子 (09·10)
幹	事	小林秀実 (45·46)	幹	事	明石知恵美 (02·03)	幹	事	成島敦子 (09·10)
幹	事	杉本清美 (46·47)	幹	事	川原浩貴 (03·04)	幹	事	星 美保子 (10·11)
幹	事	佐藤奈津美 (47·48)	幹	事	小野和彥 (03·04)	幹	事	工藤美咲 (10·11)
幹	事	鈴木佳津江 (47·48)	幹	事	坂口聖剛 (03·04)	商経・一部		
幹	事	神田みつ子 (47·48)	幹	事	今川高宏 (04·05)	幹	事	萩野谷 肇 (41·42)
幹	事	勝又昌代 (48·49)	幹	事	町野智彦 (05·06)	幹	事	上田定義 (41·42)
幹	事	原 康子 (48·49)	幹	事	池田昌史 (08·09)	幹	事	加藤久貴 (46·47)
幹	事	碓井久美子 (49·50)	幹	事	成田伸行 (08·09)	幹	事	秋山稔明 (46·47)
幹	事	岩田智加子 (50·51)	桜栄会			幹	事	野田 栄 (47·48)
幹	事	大沼めぐみ (50·51)	幹	事	山口玲子 (34·35)	幹	事	多田清吾 (47·48)
幹	事	峰田富美子 (51·52)	幹	事	阿部麻子 (35·36)	幹	事	辻本真由美 (51·52)
幹	事	山口智佳子 (51·52)	幹	事	木崎有里子 (35·36)	幹	事	吉川浩司 (54·55)
幹	事	堤 令子 (52·53)	幹	事	渡辺かよ子 (35·36)	幹	事	後藤幸江 (58·59)
幹	事	白井道代 (52·53)	幹	事	板垣和代 (36·37)	幹	事	斎藤みどり (59·60)
幹	事	石橋治代 (52·53)	幹	事	佐野茂子 (36·37)	幹	事	長澤裕子 (59·60)
幹	事	岩崎美浪 (52·53)	幹	事	小泉陽子 (36·37)	幹	事	中山由美子 (61·62)
幹	事	竹内厚子 (52·53)	幹	事	中村満里子 (37·38)	幹	事	南まり子 (03·04)
幹	事	宮澤正江 (52·53)	幹	事	川口裕子 (37·38)	幹	事	川口恭子 (04·05)
幹	事	遠藤豊美 (52·53)	幹	事	米山日出子 (37·38)	幹	事	白川美保 (05·06)
幹	事	長谷川規子 (52·53)	幹	事	金井美智子 (38·39)	幹	事	小柴慶子 (06·07)
幹	事	松川順子 (52·53)	幹	事	小坂照子 (38·39)	商経・二部		
幹	事	松崎光子 (52·53)	幹	事	塩谷まさよ (38·39)	幹	事	杉山敏明 (34·35)
幹	事	中澤小雪 (53·54)	幹	事	井原康恵 (38·39)	幹	事	渡辺 勝 (38·39)
幹	事	斎藤裕子 (53·54)	幹	事	望月千登世 (38·39)	幹	事	久保田 勝 (38·39)
幹	事	長田智子 (53·54)	幹	事	浅田義志子 (39·40)	幹	事	佐野勝己 (39·40)
幹	事	押見恵美子 (53·54)	幹	事	秋山幸子 (39·40)	幹	事	土屋忠得 (40·41)
幹	事	船石圭子 (53·54)	幹	事	関口 瑞 (39·40)	幹	事	鈴木正八 (44·45)
幹	事	四條里美 (53·54)	幹	事	福尾つや子 (39·40)	幹	事	津田正克 (50·51)
幹	事	鶴巣かはる (53·54)	幹	事	神部文子 (39·40)	幹	事	甲斐幸博 (51·52)
幹	事	藤原和美 (53·54)	幹	事	伊達伸子 (40·41)	幹	事	甲斐忠則 (51·52)
幹	事	原田純子 (54·55)	幹	事	高橋美鶴 (40·41)	幹	事	後藤善夫 (52·53)
幹	事	池谷美津子 (54·55)	幹	事	石黒榮美子 (41·42)	幹	事	加藤喜章 (53·54)
幹	事	中澤由利子 (54·55)	幹	事	鳥羽山資子 (41·42)	幹	事	鈴木理平 (54·55)
幹	事	佐伯絵里子 (54·55)	幹	事	秋山悦子 (41·42)	幹	事	内野祥司 (55·56)
幹	事	伊藤若菜 (54·55)	幹	事	渡辺あき子 (41·42)	幹	事	守野敏也 (55·56)

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	小出祐子(12・13)	幹	事	宮本久美子(03・04)	幹	事	吉田麻理子(54・55)
幹	事	峯松園美(13・14)	幹	事	渡邊真理子(03・04)	幹	事	藤田建江(55・56)
幹	事	山田美穂(13・14)	幹	事	小澤知子(03・04)	幹	事	小澤里佳子(56・57)
幹	事	遠藤友海(13・14)	幹	事	出口幸子(04・05)	幹	事	深津久美子(56・57)
幹	事	清水磨希子(13・14)	幹	事	井上雅代(04・05)	幹	事	石谷美智子(56・57)
幹	事	高橋由実(13・14)	幹	事	西岡かおり(04・05)	幹	事	田中恵子(57・58)
幹	事	米永寿子(13・14)	幹	事	田村美保(04・05)	幹	事	嶋由樹子(57・58)
幹	事	岩田直子(14・15)	幹	事	岩下志保(05・06)	幹	事	鈴木江利子(57・58)
幹	事	大沼秋桜子(14・15)	幹	事	関屋園子(05・06)	幹	事	西田昭子(57・58)
幹	事	高橋美絵子(14・15)	幹	事	渡邊千史(05・06)	幹	事	鈴木敦子(58・59)
幹	事	石渡麻史(14・15)	幹	事	川口由美子(05・06)	幹	事	武藤さゆり(58・59)
幹	事	服部直美(14・15)	幹	事	池谷尚美(05・06)	幹	事	荻沢洋子(58・59)
幹	事	秋山絵操(14・15)	幹	事	中村理恵子(05・06)	幹	事	平澤佳代子(58・59)
幹	事	山田真理子(14・15)	幹	事	遠藤理愛(05・06)	幹	事	山田明子(58・59)
幹	事	小野順子(14・15)	幹	事	神尾かほり(05・06)	幹	事	鈴木佳乃(58・59)
幹	事	栗田裕子(15・16)	幹	事	田中里都美(06・07)	幹	事	中條朝子(59・60)
幹	事	河原崎朱里(15・16)	幹	事	鈴木寛子(06・07)	幹	事	加藤容子(59・60)
幹	事	平澤怜子(15・16)	幹	事	山本静香(06・07)	幹	事	藤波佳乃(59・60)
幹	事	榎原友希(15・16)	幹	事	佐藤純子(06・07)	幹	事	藤井由紀子(60・61)
幹	事	田村美沙子(15・16)	幹	事	三須洋美(06・07)	幹	事	稻葉桂子(60・61)
幹	事	植松明菜(15・16)	幹	事	齊藤真由美(06・07)	幹	事	穂谷野弥生(60・61)
幹	事	荻島宏予(15・16)	幹	事	和泉久美(07・08)	幹	事	小島みちよ(60・61)
幹	事	渡邊裕未(15・16)	幹	事	小野澤美和(07・08)	幹	事	久保玲華(61・62)
幹	事	荒井沙織(15・16)	幹	事	小林世以子(07・08)	幹	事	山下朋子(61・62)
幹	事	宇野浩吏(16・17)	幹	事	中林香子(07・08)	幹	事	袴田則子(61・62)
幹	事	星野成幸(16・17)	幹	事	水谷鯉恵(07・08)	幹	事	鷺尾貴子(62・63)
幹	事	渡邊尚(16・17)	幹	事	横田忍(07・08)	幹	事	田上順子(62・63)
幹	事	松島佳奈子(16・17)	幹	事	中橋智子(07・08)	幹	事	山口美樹(62・63)
幹	事	中西麻純(16・17)	幹	事	神戸亜里沙(08・09)	幹	事	大須賀美穂(62・63)
幹	事	増島清美(16・17)	幹	事	兼房はな(08・09)	幹	事	櫻田智栄美(63・01)
幹	事	萩原美香(16・17)	幹	事	石崎由香(08・09)	幹	事	三宅理砂子(63・01)
幹	事	平川綾乃(16・17)	幹	事	佐藤美幸(08・09)	幹	事	野上香(63・01)
幹	事	綾部久美子(16・17)	幹	事	大水由佳(09・10)	幹	事	日吉美由紀(63・01)
幹	事	桑山理沙(16・17)	幹	事	田村理絵(09・10)	幹	事	勝俣千穂(63・01)
幹	事	飯田泰恵(17・18)	幹	事	内田恵(09・10)	幹	事	田村尚子(01・02)
幹	事	石川裕里佳(17・18)	幹	事	渡邊明子(09・10)	幹	事	杉村智恵(01・02)
幹	事	中山朋美(17・18)	幹	事	植野敦子(09・10)	幹	事	湯原里美(01・02)
幹	事	田中沙季(17・18)	幹	事	佐野文美(10・11)	幹	事	久保田裕子(01・02)
幹	事	堀田裕貴(17・18)	幹	事	鞍本鮎美(11・12)	幹	事	市川智香(01・02)
幹	事	瀧智草(17・18)	幹	事	尾間裕仁(11・12)	幹	事	岡本ゆう子(02・03)
幹	事	隅田優美(17・18)	幹	事	笠原奈津子(11・12)	幹	事	大山妙子(02・03)
幹	事	岩代美貴(18・19)	幹	事	宮田朋子(11・12)	幹	事	羽田真理子(02・03)
幹	事	加藤未奈(18・19)	幹	事	田角典子(12・13)	幹	事	望月ゆりか(02・03)
幹	事	澤谷友香里(18・19)	幹	事	小林由佳(12・13)	幹	事	安田ひとみ(03・04)
幹	事	豊田彩香(18・19)	幹	事	赤川智海(12・13)	幹	事	西村直子(03・04)

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	平野 雅之 (56~59)	幹	事	鈴木 沙羅 (23~24)	幹	事	野口 明日香 (18~19)
幹	事	福田 勝弘 (56~59)	幹	事	田島 理瑛 (23~24)	幹	事	藤井 里奈 (18~19)
幹	事	宇田 隆康 (56~59)	幹	事	深谷 正城 (23~24)	幹	事	松井 志保美 (18~19)
幹	事	山本 宏治 (57~60)	幹	事	堀 佑美佳 (23~24)	幹	事	萬両 美幸 (18~19)
幹	事	三浦 仁 (57~60)	幹	事	守野 恭介 (23~24)	幹	事	福島 健嗣 (18~19)
幹	事	横田 正 (57~60)	幹	事	須藤 静香 (24~25)	幹	事	村松 海 (18~19)
幹	事	森田 克彦 (58~61)	幹	事	田中 菜絵 (24~25)	幹	事	廣江 亜佐美 (18~19)
幹	事	佐上 菊二 (58~61)	幹	事	石井 さくら (24~25)	幹	事	富井 映里 (19~20)
幹	事	小塚 敏久 (58~61)	幹	事	伊東 亜珠沙 (24~25)	幹	事	木下 涼平 (19~20)
幹	事	横溝 泰蔵 (59~62)	幹	事	杉山 亜梨沙 (24~25)	幹	事	中安 美咲 (19~20)
幹	事	池尻 敏広 (59~62)	幹	事	成田 安実里 (24~25)	幹	事	藤井 ゆかり (19~20)
幹	事	土田 洋二 (60~63)	幹	事	山田 瑞歩 (24~25)	幹	事	山本 靖子 (19~20)
幹	事	桑原 健治 (60~63)	幹	事	山本 芽生 (24~25)	幹	事	三宅 ひとみ (19~20)
幹	事	木俣 かおり (61~01)	幹	事	藤原 麗 (24~25)	幹	事	青木 裕也 (20~21)
幹	事	増原 伸一 (61~01)	幹	事	満間 恵子 (24~25)	幹	事	小林 可南子 (20~21)
幹	事	大塚 重暁 (63~03)	幹	事	鈴木 美優 (25~26)	幹	事	石政 未希 (20~21)
幹	事	野口 厚 (63~03)	幹	事	天野 真由香 (25~26)	幹	事	岩井 友紀 (20~21)
幹	事	藤田 隆 (63~03)	幹	事	恩田 剛弥 (25~26)	幹	事	澤木 心美 (20~21)
幹	事	廣岡 達郎 (01~04)	幹	事	齊藤 花衣 (25~26)	幹	事	杉本 愛季 (20~21)
幹	事	斎藤 実 (01~04)	幹	事	林田 千尋 (25~26)	幹	事	西原 萌恵 (20~21)
幹	事	佐藤 淳悦 (01~04)	幹	事	野村 歩 (25~26)	幹	事	森山 麻里奈 (20~21)
幹	事	高橋 博樹 (01~04)	工科		幹	事	横山 千恵 (20~21)	
幹	事	長谷川 哲夫 (01~04)	幹	事	宮下 正俊 (39~40)	幹	事	市川 佳夏子 (20~21)
幹	事	村上 東洋男 (01~04)	幹	事	菅沼 弘 (39~40)	幹	事	青木 萌子 (21~22)
幹	事	須田 啓一郎 (01~04)	幹	事	土屋 貞明 (42~43)	幹	事	長田 知郁 (21~22)
幹	事	原田 恭平 (01~04)	幹	事	渡辺 清 (42~43)	幹	事	清水 遥 (21~22)
幹	事	椿 昌寛 (01~04)	幹	事	赤地 哲也 (42~43)	幹	事	時吉 結巳 (21~22)
幹	事	南 敦子 (02~05)	幹	事	吉田 力 (44~45)	幹	事	湯山 菜名 (21~22)
幹	事	門脇 正明 (02~05)	幹	事	長倉 良幸 (44~45)	幹	事	矢田 さき (21~22)
幹	事	藤原 誠吾 (02~05)	幹	事	早川 清文 (45~46)	幹	事	清水 祥子 (21~22)
幹	事	前田 智也 (02~05)	幹	事	三枝 和彥 (46~47)	幹	事	小見山 伊代 (21~22)
幹	事	坂井 利彰 (02~05)	幹	事	勝間田 太住 (47~48)	幹	事	山下 あゆ (21~22)
幹	事	小田 純子 (02~05)	幹	事	天野 寿一 (48~49)	幹	事	桑原 里沙 (22~23)
幹	事	田辺 裕司 (02~05)	幹	事	大島 裕二 (52~53)	幹	事	小原 美妃子 (22~23)
幹	事	田松 正樹 (02~05)	幹	事	上原 豊和 (52~53)	幹	事	塩谷 彰子 (22~23)
幹	事	西岡 昌仁 (02~05)	幹	事	西家 勝彦 (52~53)	幹	事	朝比奈 涼子 (22~23)
幹	事	鎌田 文一 (02~05)	幹	事	埜村 光伸 (53~54)	幹	事	篠原 莉那 (22~23)
幹	事	沼尻 正則 (03~06)	幹	事	勝呂 千明 (53~54)	幹	事	奈良 彩夏 (22~23)
幹	事	若松 はるか (03~06)	幹	事	鈴木 啓太郎 (54~55)	幹	事	原賀 あかり (22~23)
幹	事	三宅 大介 (03~06)	国際		幹	事	渡邊 愛菜 (22~23)	
幹	事	清水 建 (03~06)	幹	事	川口 智彦 (54~57)	幹	事	鵜澤まゆか (22~23)
幹	事	小塚 達郎 (03~06)	幹	事	柳川 浩昭 (54~57)	幹	事	江打 真衣 (23~24)
幹	事	紅林 美智子 (03~07)	幹	事	高野 真一 (54~57)	幹	事	澤田 明日香 (23~24)
幹	事	佐藤 治夫 (04~07)	幹	事	諏訪部 健 (55~58)	幹	事	諸星 楓 (23~24)
幹	事	千野 琢磨 (04~07)	幹	事	木村 貴美和 (55~58)	幹	事	朝日 健太 (23~24)
幹	事	渡辺 将之 (04~07)	幹	事	小松 徳弘 (56~59)	幹	事	木下 史恩 (23~24)

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	大森未奈子(16~19)	幹	事	齋藤久美絵(11~14)	幹	事	杉山文予(05~08)
幹	事	笠倉 諒(16~19)	幹	事	川村 友江(11~14)	幹	事	江島照美(05~08)
幹	事	中山 優貴(17~20)	幹	事	猪狩 博織(11~14)	幹	事	室伏 寛美(05~08)
幹	事	浅井 啓悟(17~20)	幹	事	山下 政幸(11~14)	幹	事	田尻 美三(05~08)
幹	事	芹沢 崇(17~20)	幹	事	中村 久美(11~14)	幹	事	青木 徹(05~08)
幹	事	関谷 紀志(17~20)	幹	事	鈴木さや夏(13~14)	幹	事	大嶽龍一(05~08)
幹	事	長谷川孝洋(17~20)	幹	事	川下 知恵(12~15)	幹	事	室伏太郎(05~08)
幹	事	勝呂 孝(17~20)	幹	事	鹿内 隼人(12~15)	幹	事	明石 浩一(05~09)
幹	事	中島 由人(17~20)	幹	事	齋藤 慎亮(12~15)	幹	事	沖倉保宏(06~09)
幹	事	水野 弥咲(17~20)	幹	事	山本 克幸(12~15)	幹	事	今川 慶(06~09)
幹	事	笠原菜央子(17~20)	幹	事	拓植由美子(12~15)	幹	事	田中智康(06~09)
幹	事	古山 結子(17~20)	幹	事	豊永有美子(12~15)	幹	事	久芳 仁(06~09)
幹	事	永野映吏可(18~21)	幹	事	原 順子(12~15)	幹	事	植松信二(06~09)
幹	事	勝又 智子(18~21)	幹	事	小澤 有礼(12~15)	幹	事	小林寿成(07~10)
幹	事	西岡 基(18~21)	幹	事	大野 達男(12~15)	幹	事	斎藤美根子(07~10)
幹	事	緒方 義明(18~21)	幹	事	太田 孝一(13~16)	幹	事	纏瀬健太郎(07~10)
幹	事	後藤奈津子(18~21)	幹	事	山川 利雄(13~16)	幹	事	佐竹 篤(07~10)
幹	事	祭 興斌(18~21)	幹	事	浅野 雄介(13~16)	幹	事	川野梨恵(07~10)
幹	事	片柳 健太(18~21)	幹	事	本多 加奈(13~16)	幹	事	正木創一(08~11)
幹	事	松原 慎(18~21)	幹	事	山本 彩子(13~16)	幹	事	関根大助(08~11)
幹	事	木佐木枝里(18~21)	幹	事	小栗 美緒(13~16)	幹	事	井上善史(08~11)
幹	事	金井 尊史(18~21)	幹	事	勅使河原武史(13~16)	幹	事	登ヶ谷祐人(08~11)
幹	事	久保田真未(19~22)	幹	事	相見 大輔(13~16)	幹	事	金子浩二(08~11)
幹	事	佐川 彩子(19~22)	幹	事	板橋紗綾香(13~16)	幹	事	内田 修(08~11)
幹	事	御所園智仁(19~22)	幹	事	武田 泰弘(13~16)	幹	事	成田哲浩(09~12)
幹	事	阿部 裕樹(19~22)	幹	事	浅石友里子(13~16)	幹	事	井上美由紀(09~12)
幹	事	佐久間仁輝(20~23)	幹	事	渡邊 頌子(13~16)	幹	事	石橋貴子(09~12)
幹	事	橋本 康弘(20~23)	幹	事	河野奈津子(14~17)	幹	事	井上明子(09~12)
幹	事	張替 祐介(20~23)	幹	事	脇田 千草(14~17)	幹	事	徳田瑞希(09~12)
幹	事	山下 昌志(20~23)	幹	事	綱島 昇(14~17)	幹	事	斎藤真規(10~13)
幹	事	本田 怜央(20~23)	幹	事	塚田 泰章(14~17)	幹	事	長岡福也(10~13)
幹	事	小林 訓史(21~24)	幹	事	杉町カウエ(14~17)	幹	事	筒井 靖子(10~13)
幹	事	中林 広希(21~24)	幹	事	小川 淳(14~17)	幹	事	杉山祥啓(10~13)
幹	事	野嶋 聰(21~24)	幹	事	内村 彩(14~17)	幹	事	大津留真紀(10~13)
幹	事	白滝 成美(21~24)	幹	事	渡邊 賢治(14~17)	幹	事	大友仁美(10~13)
幹	事	茂木 宏之(21~24)	幹	事	井出 知里(15~18)	幹	事	佐野京子(12~13)
幹	事	岡林 将大(22~25)	幹	事	井所 博志(15~18)	幹	事	鈴木亜希子(12~13)
幹	事	松山 直弘(22~25)	幹	事	小倉 宏紀(15~18)	幹	事	園部真子(12~13)
幹	事	大門 由佳(22~25)	幹	事	宮腰 治憲(15~18)	幹	事	長谷川郁子(11~14)
幹	事	石川 雄大(22~25)	幹	事	田野口皓太(15~18)	幹	事	土元 夏葉(11~14)
幹	事	牧野竜太郎(23~26)	幹	事	菅家奈都美(15~18)	幹	事	竹腰真裕子(11~14)
幹	事	福田 泰祐(23~26)	幹	事	藁谷 和正(17~18)	幹	事	後藤暢宏(11~14)
幹	事	今泉 仁彰(23~26)	幹	事	岩井 小百合(16~19)	幹	事	竹村 直(11~14)
幹	事	堀川未来夢(23~26)	幹	事	鈴木 弘明(16~19)	幹	事	木下真由美(11~14)
幹	事	日吉 智(25~26)	幹	事	黒子 佳恵(16~19)	幹	事	成田 美雪(11~14)

「桜栄会の皆さまへ」

桜栄会会長
野中 美香

桜栄会の会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと心よりお喜び申し上げます。

桜栄会では、昨年も引き続き北口校舎にて桜栄会主催の物産展を開催することが出来ました。

これは一昨年より管理栄養士育成や在校生への教育プログラムなどへ収益金を使用して、このことで母校発展となることを願い活動開始したものです。おかげさまで二年とも僅かではございましたが収益を得ることができ、本学科に寄付することができました。それが少しでも学生さんの勉学をするうえでの励みとなりますよう念じているところでございます。会員の皆さまをはじめ、学校関係者の方々、在校生のご父兄の皆さま、近隣住民の方など多数のご支援御協力をいただいて実施できました

ことになりました。またいつの日か開催することになりました時に

は何卒よろしくお願い申し上げます。中でもこの活動で大変お世話になりました歴代会長でもあります浅田様、校友会幹事長の田中様、そしてボランティアとしてこの運営に携わってくださいました運営委員の皆さまにこの紙面をお借りしまして心から感謝申し上げます。忙しい

中、気持ちよく一生懸命母校のために働いてくださいましたことに会長として何よりも有難く胸がいっぱいになる思いでございました。本当にありがとうございました。もし会員の皆さまがいつぱいになる思いでございました。いろいろな企画等ございまして、来年の三月で室伏先生と三橋先生が定年を迎えるままでいりますよう、そして、母校発展に役立ててくださいますように

いたしました。本当にありがとうございます。もう会員の皆さまがいつぱいになることから、会員の皆様方一人ひとりが元気な日本人を支える礎となっているものと確信しております。会員様を繋いでいきたいです。会員様を繋いでいきますよう、そして、母校の発展に役立ててくださいますよう尽力してまいります。

さて、来年の三月で室伏先生と三橋先生が定年を迎えるままでいります。両先生方の食物栄養学科にて残されました素晴らしい足跡を称えるため、学科と協力して催しを考えておりますので会員の皆さまの多数のご参加を何卒お願い申し上げます。

それでは、桜栄会会員の皆さまのご多幸とご発展を心より祈念申し上げます。



「栄養科・家政科・生活文化学科・食物栄養学科専攻科」の概要

日本大学短期大学部教授
日本大学短期大学部教授
神戸 紗代

今年は、同窓生の皆様に嬉しい報告があります。昭和三十四年に学科が創設され、今年で五十六年目になります。歴代の

学科長を表にお示しましたが、短期大学部の卒業生で管理栄養士資格を持つ者が始めて学科長となりましたことをご報告させていただきます。私は、卒業後家政科食物栄養専攻の実習助手として四年(この間に管理栄養士資格を取得、病院の管理栄養士として三十年)この間非常勤六年間(兼務)働き、平成十五年のと心から感謝申し上げます。

時代の変化に伴い、学科名は改名されてきましたが、平成十二年には家政専攻が廃止となり、翌年から食物栄養学科になり、改名され栄養士養成だけになりました。家政専攻を卒業された同窓生におかれましては、専攻がなくなり淋しい思いをされることと存じます。しかし、人が生きていくためには、「食」は切り離せず、家政・食物専攻(コース)では共通科目として調理実習を学

び、日々の生活の中では少なからず食事作に携わっています。長寿国日本が抱える問題の中で、特に生活習慣病の予防や健康の維持・増進には「食」は密接に関係していることから、会員の皆様方一人ひとりが元気な日本人を支える礎となっているものと確信しております。

栄養士養成だけになりました現在、定員は一二〇名で毎年一〇〇名以上の栄養士を輩出しています。栄養士の職に就いた卒業生は、三年もしくは一年の実務経験を積み管理栄養士国家試験を受験しております。特に今年度は、実務一年で合格した専攻科卒業生は八名、短期大学部卒業生を合わせて十五名(学校で把握できた人数のみ)と近年になりましたことを書面にてご報告させていただきます。私は、合格者に今年度から、桜栄会会長の野中様を中心会員の有志の方々が大学祭時にボランティアで開催したバザーの売り上げを基金として、奨励金制度を設立していくなります。この学科に入学した学生が、生活習慣病の予防、子供の教育などの担い手として活躍できるよう、学科長と日本栄養士会の理事との両面から人材育成を目指していきますので、会員の皆様方からのご支援・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。

歴代学科長名

(敬称略)

年号	学科名	学科長名
昭和34~39年	栄養学科	秋葉安太郎
37年	家政科	
昭和40~54年	〃	山本 健一
昭和55~59年	〃	浅野 良哉
昭和60~平成2年	〃	小佐野嘉子
2年	生活文化学科	
平成3~6年	〃	服部 照子
平成7~12年	〃	岩瀬 善則
9年	男女共学	
11年	専攻科開設	
12年	生活文化廃止	
平成13~16年	食物栄養学科	西山 千秋
平成17~20年	〃	中島 久男
平成21~26年	〃	室伏 誠
平成27年	〃	神戸 紗代

「研究室に残る様々な記念品」



日本大学短期大学部教授

大学院を出て、岩手県の北里大学水産学部水生生物学研究室の助手として三年間生籍に就いた。その間に広がる壮大な太平洋をフィールドに、自然を相手に過ごしました。その後、日本大学家政科食物栄養専攻の一員として、三島に赴任しました。幸いにも日本一の海湾である駿河湾が新たなものでした。研究フィールドとなりました。

三島では、当時家政科の授業を担当された、農獸医学部（現生物資源科学部）の諸先輩、青木久尚先生、理工部幸穂先生、中原健允先生、理工部学部出身の中野繁先生、岩瀬善則先生はじめ多くの先生方に、大変良くしていただきました。昭和三十四年発足した栄養科は、家政科、生活文化学科、食物栄養学科と名称が変わりましたが、この変革の中で、教育、研究、そして地域貢献に取り組んできました。

栄養士教育分野での授業や実験、実習はとても楽しい時間でした。少人数で、皆さんのがしっかりとノートをとつているので、誤字を板書しないよう緊張しました。栄養士をはじめ社会で責任ある仕事を付かれる多くの卒業生は、素晴らしい職業と感じました。三十八年間に卒業された数多くの卒業生とは、それぞれの時

代を共有してきました。最近の連絡ツールはメールやLineが多く、手紙を書くことも減ってきましたが、毎年三百枚を超える卒業生への年賀状作りは今でも年末行事となっています。

研究活動は、三島に来て大きく進展しました。青木先生からご紹介いただいた、世界的に有名な染色体研究の第一人者、国連遺伝学研究所細胞遺伝部長吉田俊秀先生のもと、あまり研究が進んでいなかつた魚介類の染色体研究に取り組むことになりました。「夜の訪問者」と言われるほど、毎日大学の仕事が終わってから夜十時過ぎまで遺伝研で研究をさせていただきました。この研究は、北里大学で太平洋のカツオやマグロの集団遺伝学的研究をされていました。藤野教授から、まだ誰も見たことのないカツオやマグロの染色体を世界で初めて明らかにしてほしいといわれた。これが染色体研究のスタートでした。大きな定置網漁に乗組員の様に毎日参加し、元気なカツオやマグロを持ち帰りました。結果、魚は高価なので、鰓などの組織を生かして研究室に持ち帰り、簡易組織培養によって、染色体の観察に成功しました。学院時代に行つた浸透圧研究が決め手でした。早々に学会発表しました。その後、すぐに論文を投稿しました。その後、三島に来てから組織・細胞培養法を確立し、多くの魚介類の細胞遺伝学的知見を明らかにしました。これらは、日本遺伝学会をはじめ、多くの学会誌で論文となりました。中でも日本学術会議が発行する「学士院紀要」にたて続けに論文を投稿できたことは大きな喜

びでした。また、海外派遣研究員（長期）として、米国ハワイ大学やニュージーランド農業漁業省水産研究所で、諸外国の魚介類の染色体研究を進めました。これらの研究は、バイオテクノロジーの基礎研究と、私のライフワークとなりました。

地域貢献活動は、まさに異文化でした。沼津で開催された技能五輪のおもてなし料理に参加することになり、身をもって学ぶことをきつかけに、地域連携が始まりました。平成二十年には室伏ゼミ「プロジェクトM」を発揮、大学生で唯一入賞しました。新聞・テレビで紹介されたことをきっかけに、地域連携が始まりました。

高田（旧姓富井）さんは底力を発揮、大学生で唯一入賞しました。新聞・テレビで紹介されたことをきっかけに、地域連携が始めた。平成二十年には十数団体と連携しています。モットーは「食と健康、生活環境の向上を目指して」。活動の全てをご紹介はできませんが、その成果は、伊豆豆ヶ瀬梅組合さんとの「静岡県一社一村しづおか運動」の認定、富士市小林さんとは、「緑茶」「富士姫」「シリーズ四種類の緑茶を完成させ、世界緑茶コンテストで四年連続金賞」など沢山あります。また、大学を代表して農林水産省主催の「アグリビジネス創出フェア（東京国際フォーラム）」などへの参加、農業活動も無農薬有機肥料で頑張っており、全農協の機関誌「NOASA」に私たちの農業活動として十回にわたって連載されました。

多くの方たちのご援助とご協力で進めてきたこれら活動は、毎年取り組んできた「プロジェクトM」のメンバーのたぐいまくな協力によるもので、参加してくれた多くの卒業生に感謝して連載されました。

日本大学短期大学部食物栄養学科教授

私は、来年の三月には四十一歳の年齢で、おかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。私は、年間務めたこの食物栄養学科を退職いたします。本当に長いことお世話をになりました、ありがとうございました。どうござります。

私が大学院の二年生の時、当時の学科長の山本先生から私の恩師のところへ、将来教員となる者を助手として採用したいとのことで紹介をお願いした。私の出身地が小田原市近郊だったため、先生は私に声をかけてくださいました。当時私の出身大学には、博士課程が設置されておらず、他大学を受験しなければならなかったことや、修論を指導してくださっていた先生が留学され

していく進学について相談できなかつたこともあり、社会に出ることを考えるようになりました。そんな経緯で三島の日本大学に一九七五年に着任しました。それから四十年以上が、今考えるとあつという間に過ぎてしまつたような気がします。三島に来てから四年目に、三島に来なかつたら出会えなかつた人と結婚し現在に至っています。結婚後も仕事と研究を続けたという私の思いの実現は、現在のように男女共同参画や子育て支援の体制の整つていなかつた当時としては大変なことでした。しかしその後3人の子育てをしながら、ずっと仕事を研究が続けてこられたことは本当に幸せなことで、夫や夫の両親、子供たち、それと私の健康に感謝しています。子どもたちがまだ小学生だった一九九三年には、子供たちを連れていアイオワ州立大学に日本大学の海外派遣研究員として一年間留学させていただきました。それまでも低空飛行ではありましたが、研究活動は細々と続けていました。しかし、留学を契機に帰国後には、それまで以上に強い気持ちで博士論文に取り組むことができました。一九九九年に専攻科食物栄養専攻が立ち上がりましたが、専攻科のゼミ生にも協力していながら研究活動を続ける二〇一二年に博士号を取得することができました。

ています。
早いもので、今年で六十五歳となりました。多くの学生の皆さんと過ごした忘れえない思い出と、研究室に残る様々な「記念品」は、歴史の品として大切にしたいと思います。
桜栄会の皆様の、今後益々のご発展をお祈り申し上げるとともに、愛猫家として猫たちの幸せにも尽力したいと思っています。

していく進学について相談できなかつたこともあり、社会に出ることを考えるようになりました。そんな経緯で三島の日本大学に一九七五年に着任しました。それから四十年以上が、今考えるとあつという間に過ぎてしまつたような気がします。三島に来てから四年目に、三島に来なかつたら出会えなかつた人と結婚し現在に至っています。結婚後も仕事と研究を続けたという私の思いの実現は、現在のように男女共同参画や子育て支援の体制の整つていなかつた当時としては大変なことでした。しかしその後3人の子育てをしながら、ずっと仕事を研究が続けてこられたことは本当に幸せなことで、夫や夫の両親、子供たち、それと私の健康に感謝しています。子どもたちがまだ小学生だった一九九三年には、子供たちを連れていアイオワ州立大学に日本大学の海外派遣研究員として一年間留学させていただきました。それまでも低空飛行ではありましたが、研究活動は細々と続けていました。しかし、留学を契機に帰国後には、それまで以上に強い気持ちで博士論文に取り組むことができました。一九九九年に専攻科食物栄養専攻が立ち上がりましたが、専攻科のゼミ生にも協力していながら研究活動を続ける二〇一二年に博士号を取得することができました。

A black and white portrait of Sayuri Kawauchi, a young woman with dark hair, wearing a light-colored top. She is looking directly at the camera with a slight smile.

食講習会などの業務を行なう中で
さまざまなもの壁にぶつかり、まち
そこからさまざまなことを学びま
した。そしてそれらの多くは
教科書から学ぶ事の出来ない社
会では大切なことだと思います。
食物栄養学科、専攻科にいる間
に学校という場所でそれらの多くは
とを学ぶ事は稀だと私自身感じ
るところなので、現在手助といふ
仕事を通して彼らにそれらの事を
教えていけるたらと思っています。
平成二十五年以降助手として
働く中で、食物栄養学科や専攻
科の学生のために自分ができること
ことは何かということに時折考
えを巡らせることがあります。
周知の事とは思いますが栄養士
という職業は、衛生面等に多大
に気を使う職業であるため、常に
に学生たちに気を付けなければ
ならないことを細かく指導す
らうことがあります。特に学生たちが将
来栄養士として働く時のために小
じでも役に立てるること、それ故に
念頭に置いて日々行動しているを
めか、学生たちに対する思いの
れも強く、卒業生の近況報告や
管理栄養士に合格したという知
らせ、自身がかわった学生が食栄
究室に遊びに来てくれた時の喜び
は何物にも代えがたいものです。
また、私事ではありますがあ
このたび管理栄養士国家試験に
合格することができました。叶
手という仕事をしてしながら、合
わせて勉強してやつとつから
だ合格です。一緒に働いていた
先生方や助手のサポートがあ
たからこそその合格だつたと思
います。この場をお借りしてサ
ポートをしてくださった皆様に感
謝申し上げます。

A black and white portrait of a young woman with dark hair, wearing a white chef's uniform with a name tag. She is looking directly at the camera with a slight smile.

日本大学国際関係学部を卒業した後、社会人を経て、家族の病気を機に栄養士の道を志した私ですが、それからの5年間は自分の苦手なものと向き合い、克服した期間であつたよう思います。

高校時代、文系選択で苦手な理系科目から逃げてきましたが、入学当初は四年制大学を卒業し入力当時は「どう妙な自信から、大いの勉強はそこまで難しくないだろう」と樂観視していた部分がありました。そしてその考え方浅はかさに気づいたのが、太田先生の食品学の授業を受けたときです。

さらさらと先生が黒板に書き出した、「グルコースはグルコース2分子が α 1-4結合でつながる」という妙な説明をした後で、先生が「この授業で初めて環状構造を見た私にとって、それは、古代エジプト文字のヒエログリフ並に解読することができる、模様や柄にしか見えませんでしたし、それを更に結合させる、脱水縮合させるなどの高度な技術はありませんでした。授業内容に理解が追いつかず焦る内心と、先生の追い打ちをかける指名の嵐は、当時の私にとってはまるで戦場のようでした、いつ撃たれる（指される）のだろうと怯えながら教科書に手汗を滲ませていました。

そして、「このままではまずい」と本気で思い、そこから基礎化学校や有機化学の参考書を読み漁りました。

り、分からぬことを自分が納得するまで調べる、追究することを行いました。これが功を奏したのか、暗号のように見えていた教科書の内容を徐々に読み解くことができるようになり、戦場のように感じていた時間はいつしか興味をそそられる時間となり、そして気づけば食品学の成績にSがつくほどの力がついていました。

このことは、国家試験の勉強に打ち込んでいた時も、過去の成功体験として私を常に励まし、自己効力感を高めていました。

理解するまでやる！基礎を身につける！ そうすれば 必ず道はひらける！

私の夢は臨床栄養の現場に立ち、多くの医療スタッフと協力しながら患者様やご家族をサポートし、目指すゴールに向かうことをなので、より一層力を引き締めて勉強しました。膨大な試験範囲の海で難破しそうになつたときもありましたが、「何とか乗り越えることができ、今手元には合格証書が輝いています。

これから国家試験を受ける皆さんは、仕事と勉強の両立で大変な思いをされる方が多いと思いますが、目指すところの具体的なイメージを持ち、頑張ってほしいです。真摯に努力する人には必ず結果が出る。それが国家試験ですが、自分の管理栄養士像が想像できればゴールできます。

文系出身の、理系の基礎も何も無かつた私が合格できたのですから、あなたにできないことはないのですよ。

辛い時は、お米食べろ！



川久有紀 良物栄養学科五十期

究室に遊びに来てくれた時の喜びは何物にも代えがたいものです。また、私事ではありますがあのたび管理栄養士国家試験に合格することができました。忙手という仕事をしながら、合間に縫つて勉強してやつとつからだ合格です。一緒に働いていた先生方や助手のサポートがあつたからこそこの合格だつたと思います。この場をお借りしてサポートをしてくださった皆様に感謝申し上げます。



食物栄養学科五十一期

管理栄養士国家試験に合格して

「母校の助手になつて」

え子の子供さんの世代が多くなり、感性の違いをひしひしと感じていますが、ゼミ生には私なりの人生観を長々と語っています。四十年以上も十八歳から二十歳の若者と語り合いで幸せでした。学生さんの若さを吸い取って、気持ちは今も若くていらっしゃるような気がします。本当に今までありがとうございました。

築・機械)、文科(国文専攻、英文専攻)の学生さんはいなくなり、大学のシステムそのものが大きく変わりました。私も年齢を重ね、学生さんのお母さんから、叔母さん、お母さんへと変化し、学生さんのご両親の気持ちもわかるようになってきました。一九九七年には男子学生も入学してくるようになり、以前とは違った視点で学生さんを理解するようになりました。専攻科の設立後は着実に当時に沿われた、短大は研究より教育優先という考えが、研究と教育が両輪という当たり前の体制になつてきました。最近はかつての教

「管理栄養士国家試験に合格して」

バスを懐かしむ意味でも、ぜひ三島
キヤンバスをもう一度訪れてみて、
自分のいた頃との変化を感じて
みてはいかがでしょうか。

卒業生の皆様の中、管理栄養士国家試験合格を目指して勉強の方が多いいらっしゃいましたらお仕事と勉強の両立は大変だと思いますが、引き続き自身の夢を実現させることができるよう頑張ってください。応援しております。

平成二十四年に専攻科を修了し平成二十五年からまた助手として三島キヤンパスに通う日々が続いておりますが、現在の三島キヤンパスは私が在学しているものとは幾つか様変わりをしました。ここ数年三島キヤンパスを訪れていないという方々は、自身が学んでいたキヤン

えませんでしたし、それ更に結合させる、脱水縮合させるなどの高度な技術はありませんでした。授業内容に理解が追いつかず焦る内心と、先生の追いつきをかける指の嵐は、本当にとつてはまるで戦場のようで、いつ撃たれる（指される）のだろうと怯えながら教科書に手汗を滲ませていました。

そして、このままではまずいと本気で思い、そこから基礎化學や有機化學の参考書を読み漁

さらさらと先生が黒板に書き出した、グルコースの環状構造。そして、逃れることができない先生からの「 α -グルコースと β -グルコースってどこがどう違うか言つて。」「マルトースはグルコース2分子が $\alpha 1-4$ 結合やつて。あなたのマルトースの構造書いて。」などの指名。正直などころ、この授業で初めて環状構造を見た私にとって、それらは、古代エジプト文字のヒエログリフ並に解読すること

日本大学国際関係学部を卒業した後、社会人を経て、家族の病気を機に栄養士の道を志した私ですが、それからの5年間は自分の苦手なものと向き合い、克服した期間であつたように思います。

高校時代、文系選択で苦手な理系科目から逃げてきましたが、入学当初は四年制大学を卒業しているという妙な自信から、短大の勉強はそこまで難しくないだろ」と思って観察していく部分がありました。そしてその考え方淺はかさに気づいたのが、太田先生の食品学の授業を受けたときです。

ますが、目指すところの具体的なイメージを持ち、頑張つてほしいです。真摯に努力する人には必ず結果が出て、それが国家試験ですが、自分の管理栄養士像が想像できれば、努力が苦とならないで必ずゴー！れます。

文系出身の、理系の基礎も何も無かつた私が合格できたのでですから、あなたにできないことはないのですよ。

辛い時は、お米食べろ！

道はひらける!
私の夢は臨床栄養の現場に立ち、多くの医療スタッフと協力しながら患者様やご家族をサポートし、目指すゴーレムに向かうことなので、より一層気を引き締めて勉強しました。膨大な試験範囲の海で難破しそうになつたときもありましたが、何とか乗り越えることができ、今手元には合格証書が輝いています。これから国家試験を受ける皆さんは、仕事と勉強の両立で大変

り、分からぬことを自分が納得するまで調べる、追究することを行いました。これが功を奏したのか、暗号のように見えていた教科書の内容を徐々に読み解くことができるようになり、戦場のようを感じていた時間はいつしか興味をそそられる時間となり、そして気づけば食品学の成績にSがつくほどの力がついていました。

このことは、国家試験の勉強に打ち込んでいた時も、過去の成功体験として私を常に励まし、自己効力感を高めていました。理解するまでやる！基礎を身につける！ そうすれば必ず

桜栄会の皆様へ

桜栄会の皆様には、日頃から食物栄養専攻の教育活動にご理解とご協力を賜わりまして心から感謝いたします。

さて、今日少子化が進む中、大学への進学希望者は年々減少し、特に短期大学への進学者数は目の見えて減ってきております。本学科では、ほぼ定員は確保しておりますものの、大変厳しい状況が続いております。幸いにも本学科におきましては、現在に専攻科を開設し教育的には四年制大学と同等の教育や学士（栄養学）の取得、さらに大学院への進学も可能となり、教育水準も維持しています。歴史と伝統を有する本学科の維持・発展をして、日々の教育・指導に一層努めてまいりますので、よろしくご支援のほどお願い申し上げます。なお、平成二十八年度の入試日程をご参照のうえ、お知り合いで、日々の栄養士資格の取得を希望される受験生や社会人の受験をご案内いただければ幸いです。また、管理栄養士を目指す学生の専攻科進学を進めておりますが、近年では社会人になられた卒業生も、さらに専門的知識や技術を習得し、管理栄養士を目指して入学されています。平成二十三年度より、管理栄養士国家試験対策教室を立ち上げ、昨年度はそのサポート体制を整備し合格者を増やしています。なお、下記製菓衛生師コースは他校に比べ安価（一年間十五万円、二年間で国家試験受験資格取得）ですが、しっかりとした学習体制で毎年多くの皆さんのが国家試験に合格しています。通信制ですので、大安価（一年間十五万円、二年間で国家試験受験資格取得）ですが、しっかりとした学習体制で毎年多くの皆さんのが国家試験に合格しています。通信制ですので、大

平成28年度 日本大学短期学部(三島校舎)入学試験日程(食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻、ビジネス教養学科)

上記日程については変更することがありますので、詳細については大学入試事務室(055-980-1919)までお問い合わせください。

管理栄養士国家試験対策 対策室開設

《介護職員初任者研修》

平成二十三年四月より、旧管理栄養士国家試験強化講座を廃止し、「管理栄養士国家試験対策室」を立ち上げました。専用教室を設置し、四月から翌年三月までの十二ヶ月を、管理栄養士国家試験のための講座や模擬試験等を行つて、専攻科学生や卒業生の管理栄養士国家試験合格者数増を目的としています。平成二十七年度も、さらに、充実したものとしていく所存ですので、ぜひご参加

「アーデアナリスト」四級・三級

《製菓衛生師（國家試験受験資格）》

平成十六年度から、食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻では、茨城県にある「つくば栄養調理製菓専門学校」との連携で、製菓衛生師国家試験受験資格を取得できる通信教育課程を開設しております。製菓衛生師とは、製菓・製パン業務に就く際に取得していることが望ましい唯一の資格で、近年の食に関する資格の中でも人気の高いものです。本学では、二年間の在学中に、通信学習（月一回の課題提出）、夏季と春季のスクーリング（各五日）および指導校研修（二日）で効果

平成十六年度から、栄養・栄養学科・専攻科食物栄養専攻では、茨城県にある「つくば栄養調理製菓専門学校」との連携で、製菓衛生師国家試験受験資格を取得できる通信教育課程を開設しております。製菓衛生師とは、製菓・製パン業務に就く際に取得していることが望ましい唯一の資格で、近年の食に関する資格の中で最も人気の高いものです。本学では、二年間の在学中に、通信学習（月一回の課題提出）、夏季と春季のスクーリング（各五日）および指導校研修（一日）で効果的に修得できます。毎年四月から開講で

お問い合わせは、食物栄養学科研究室
TEL：〇五五一九八〇一〇八四〇
FAX：〇五五一九八〇一〇八四六
E-mail: kanbe.kinuyo@nihon-u.ac.jp

日本大学国際関係学部校友会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は日本大学国際関係学部校友会と称する。

(事務局)

第2条 本会は事務局を静岡県三島市文教町2丁目31番145号に置く。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦と融和をはかり母校の発展に寄与すると共に母校建学の理念を社会に拡充することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は前条目的達成のために次の事業を行う。

- 1 会報発行・会員名簿の作成
- 2 会員相互の親睦と融和をはかるための諸事業
- 3 母校の発展興隆に関する諸事業への協力参加
- 4 その他目的達成のために必要な諸事業

第3章 会 員

(会員構成)

第5条 本会は日本大学三島予科・三島教養部・文理学部三島・短期大学部（三島校舎）・専攻科食物栄養専攻・国際関係学部・大学院国際関係研究科の出身者および在籍した者による正会員と幹事会において本会に關係が深く功勞があると認められた特別会員・名誉会員並びに準会員である国際関係学部・大学院国際関係研究科・短期大学部（三島校舎）の在学生をもって構成する。

- 2 特別会員・名誉会員並びに準会員は議決権は有しないものとする。

(会 費)

第6条 会員は規程の定めるところにより、会費を納入しなければならない。

- 2 会費及び徵収方法は別に定める。
- 3 特別会員・名誉会員は会費を徵収しないものとする。

第4章 役 員

(役員構成)

第7条 本会に次の役員を置く。

- 会長 1名
副会長 若干名
幹事長 1名
常任幹事 若干名
幹事 若干名
会計監査 2名

(顧問・参与)

第8条 本会は顧問・参与を置くことができる。

- 2 顧問・参与は幹事会の議を経て会長が委嘱する。

(役員の選出)

第9条 会長は会長・副会長会議で推薦され、総会にて承認を得るものとする。

- 2 副会長は国際関係学部校友会を構成する各同窓会会長或は在学した者の代表者とし会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 3 幹事長は常任幹事から会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 4 常任幹事から庶務担当・会計担当を幹事長が指名し、会長・副会長会議に報告するものとする。

(任 期)

第10条 各役員の任期は3年とし、再任は妨げない。ただし満80歳をもって定年とする。なお、期間は当該年度内とする。

- 2 欠員が生じたときは、必要に応じて補選し、その任期は前任者の残存期間とする。
- 3 任期満了した場合においても、後任者が就任するまでの間その職務を行う。

(役員の職務)

第11条 会長は本会を代表し会務を統括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 3 幹事長は事務を統括し、本会運営に必要な一切の事務事項を遂行する。
- 4 常任幹事は幹事の互選により選出し、常任幹事会を構成、本会業務の遂行にあたる。
- 5 幹事は幹事会を構成し、本会運営の諸事項の議決にあたる。
- 6 顧問・参与は本会の重要事項につき、会長の諮問に応ずるものとする。

なお、顧問・参与には役員に関する規定を準用する。

第5章 会 議

(会議及び議決方法)

第12条 本会の会議は、総会・会長、副会長会議・常任幹事会・幹事会の4種とする。

2 会議は会長が招集し、議長団はその都度選出する。

3 やむを得ない場合は、常任幹事会及び幹事会をもって総会に代ることができる。

(会議の構成及び開催)

第13条 本会は目的達成のため下記の機関を置く。

2 総会は本会運営上の諸事項についての報告を受けこれを承認する。

総会は年1回開催するものとし会長がこれを招集する。

3 常任幹事会は常任幹事以上の役員を以て構成し本会の執行機関として本会の実質的運営にあたる。常任幹事会は必要に応じて隨時会長がこれを招集する。常任幹事3分の1以上の要求があった場合はこれを招集しなければならない。

4 幹事会は総会の代行機関として第14条の事項を付議し、これを議決する。

幹事会は年1回以上開催するものとし会長がこれを招集する。幹事3分の1以上の要求があった場合は臨時に招集しなければならない。

5 事務局は幹事長指示のもと会員相互の連絡及び各会議の議事の収録並びに運営に必要な一切の事務を行う。

(総会の審議)

第14条 総会は次の事項を審議し議決する。

2 会則及び重要規定の制定、改廃に関する事項。

3 事業計画に関する事項。

4 予算・決算に関する事項。

5 会長の選任に関する事項。

6 その他第4条に基づいて必要と認められた事項。

第6章 支 部

(支部の設置)

第15条 本会は円滑な発展と交流の促進のために支部を設けることができる。

2 支部の設置条件及び方法は別に定める。

第7章 会 計

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経費)

第17条 本会の経費は、会費並びに寄付金その他の収入を以てこれを充てる。

(会計監査)

第18条 会計監査は本会会計及び財務について監査し、その結果を総会にて報告する。

第8章 会 則

(会則変更)

第19条 本会の会則の変更は総会の議を経てこれを決する。

(会則の遵守)

第20条 国際関係学部校友会は日本大学校友会会則及び支部規程を遵守しなければならない。

(施行細則)

第21条 この会則に必要な細則は会長・副会長会議及び常任幹事会の議決を経て会長がこれを施行する。

第9条 表 彰

(表彰)

第22条 本会の目的及び事業に貢献した者は幹事会の議を経て、これを賞することができる。

2 卒業予定者及び在学生に対する会長賞等の表彰規定は別に定める。

第10章 除 名

(会員除名)

第23条 会員が次の事項に該当した行為があったときは幹事会の議を経て除名することができる。

2 国際関係学部の名誉を傷つけ、また校友としての品位を害する言動があったとき。

3 校友会の秩序を乱したとき。

4 故意または重大な過失により校友会に損害を与えたとき。

付 則 本会則は平成23年8月1日より施行する。

日本大学校友会組織図

日本大学校友会(校友会本部事務局)

都道府県支部(65 支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・帯広・留萌・苫小牧・網走・釧路)
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)
東京ブロック(東京都第一・東京都第二・東京都第三・東京都第四・東京都第五・
東京都第六・東京都第七)
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会(16 部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信

職域別部会(4 部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会(80団体)

海外特別支部(8 支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・インドネシア

日本大学国際関係学部校友会組織図

国際関係学部校友会
(旧三島同窓会)

三島豫科
三島教養部
文理学部(三島)

短期大学部
桜文会(国文・英文)
商経科同窓会(1・2部・ビジネス教養)
桜栄会(栄養・家政・食栄・生活・専攻科)
工科同窓会(建築・機械)

国際関係学部同窓会